

記者発表資料

鎌倉での観光渋滞対策について地元での議論を開始！ ～第1回鎌倉エリア観光渋滞対策実験協議会を開催～

国土交通省では、ICT・AI等の革新的な技術を活用し、警察や観光部局とも連携しながら、エリアプライシングを含む交通需要制御などのエリア観光渋滞対策の実証実験を実施する2地域を選定*しました。

*この他、今後の取組方針や実験計画等の更なる具体化に向けて検討を行う地域として2地域選定している。

このたび、実験実施地域として選定された鎌倉において、実験内容の検討・分析や関係機関との調整を行うため、有識者や関係機関により構成される「鎌倉エリア観光渋滞対策実験協議会」を設置し、下記のとおり開催します。

■第1回 鎌倉エリア観光渋滞対策実験協議会

日時：平成29年12月12日（火） 19時から

場所：鎌倉市役所 第3分庁舎1階 講堂
(神奈川県鎌倉市御成町18-10)

委員：別紙のとおり

- 議事（予定）：
1. 協議会の設置について
 2. ICT・AIを活用したエリア観光渋滞対策について
 3. 鎌倉市の提案内容について
 4. ETC2.0データ・車両感知器データを活用した渋滞状況分析例
 5. 今後の進め方について

* 会議は非公開とします。ただし、報道機関に限り、会議冒頭の会長挨拶までカメラ撮り可能です。

希望される報道機関の方は前日（12月11日17時）までに以下の問い合わせ先までご連絡ください。

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、神奈川県政記者クラブ、横浜ラジオ・テレビ記者会

問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 横浜国道事務所

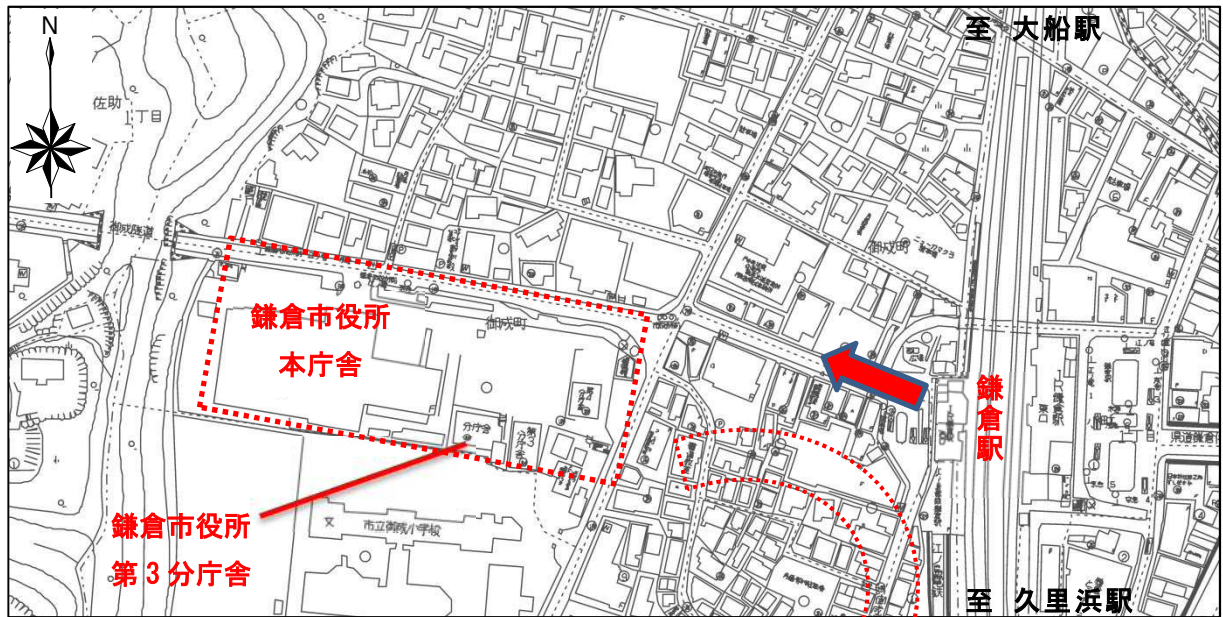
電話 045-316-3537

副所長 いからし 五十嵐 かすお 一夫 調査課 建設専門官 かじわら 梶原 ちえみ

鎌倉エリア観光渋滞対策実験協議会
委員名簿（案）

委員	所属
岸井 隆幸	日本大学理工学部 土木工学科 教授
久保田 尚	埼玉大学大学院理工学研究科 教授
根本 敏則	敬愛大学経済学部 教授
瀬戸下 伸介	国土交通省 国土技術政策総合研究所 道路交通研究部 道路研究室 室長
近藤 進	国土交通省 関東地方整備局 道路部 道路計画第二課 課長
外川 和彦	国土交通省 関東地方整備局 道路部 交通対策課 課長
淡中 泰雄	国土交通省 関東地方整備局 横浜国道事務所 所長
西山 俊昭	神奈川県 県土整備局 道路管理課 課長
福島 温	神奈川県 県土整備局 交通企画課 課長
鈴木 仁	神奈川県 藤沢土木事務所 所長
宮島 良	神奈川県 警察本部 交通部 交通規制課 都市交通対策室 室長
野崎 剛志	神奈川県 警察本部 鎌倉警察署 署長
野口 博	神奈川県 警察本部 大船警察署 署長
樋田 浩一	鎌倉市 都市整備部 部長
齋藤 和徳	鎌倉市 まちづくり景観部 部長
嶋村 豊一	(公社) 鎌倉市観光協会 事務局長
廣瀬 信	鎌倉市商工会議所 事務局長
相馬 孝	東日本旅客鉄道(株) 鎌倉駅長
関 和也	江ノ島電鉄(株) 取締役鉄道部長

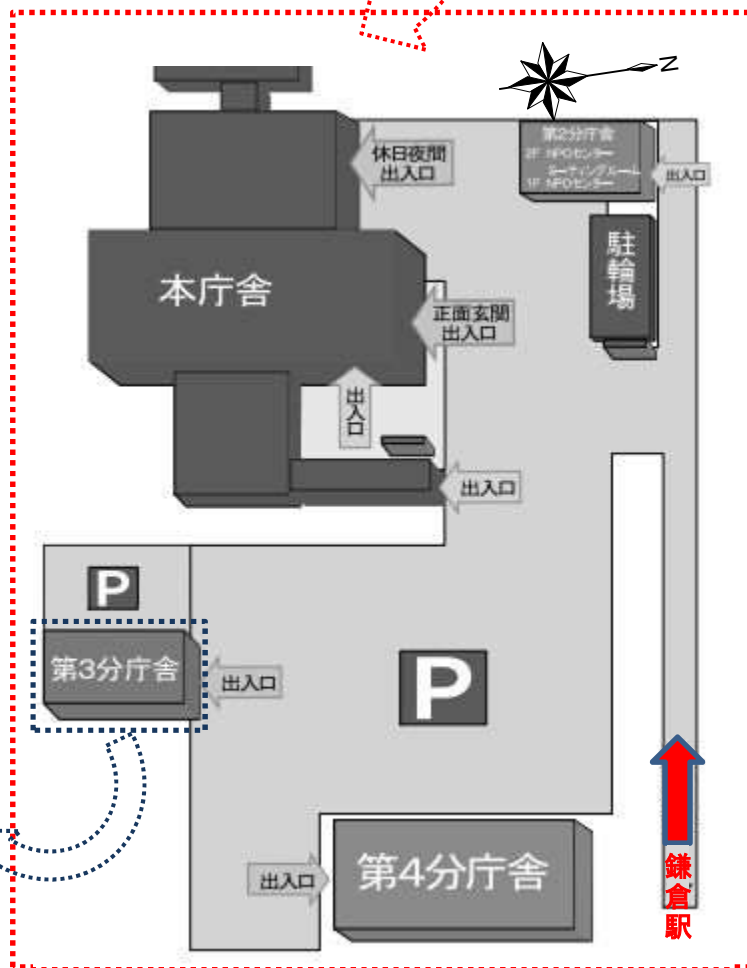
【会場案内図】



《レイアウト》

【鎌倉市役所】

- 鎌倉駅西口から徒歩3分
- 住所 鎌倉市御成町 18-10
- 電話 0467 (23) 3000



(参考) ICT・AIを活用した観光渋滞対策

- 観光地周辺で広域的に発生する渋滞を解消し、回遊性が高く、円滑な移動が可能な魅力ある観光地を創造するため、ICT・AI等の革新的な技術を活用し、警察や観光部局とも連携しながら、エリアプライシングを含む交通需要制御などのエリア観光渋滞対策の実験・実装を推進・支援。

革新的な技術



ICT

- ETC2.0、高度化光ビーコン、AIカメラ等で人や車の動きを収集
- AIの分析・予測結果に基づき人や車の流れを最適化



AI

- 過去の渋滞発生履歴をAIが学習・分析
- 交通の変化をAIが判断し渋滞発生を予測

ビッグデータ(観光客・車・公共交通等)

エリアマネジメント

観光交通イノベーション地域



交通需要マネジメント(TDM)

信号制御、交通規制等

道路空間の再編

等

(参考) 今後のスケジュール

8月2日(水)～21日(月)

観光交通イノベーション地域※の公募

※ 国土交通省で、警察や観光部局とも連携しながら、
実験・実装を重点的に支援

※ 今後、エリアプライシングの導入を検討している地域

9月7日 地域選定

今後継続的に取組

実験(H29年秋以降、順次)

まずは、ETC2.0等の既存の技術をフル活用し
詳細分析をした上で、H30年度より新たな
技術の実証を行う予定

実装

他の観光地への展開

オープンイノベーション

(産・学)

- 新たな要素技術の公募
- オープンデータ (H29秋頃から)
- 新たなエリアマネジメント方策の提案

**新技術を適用するための
制度検討**

(官)

(参考) 実験実施地域 選定結果

鎌倉市・京都市

【選定理由】

地域の課題や、これまでの取組を踏まえ、面的に観光渋滞対策を行うエリアの絞り込みが行われている。

こうした地域の取組と連携することにより、ICT・AIを活用した観光渋滞対策の実装が期待できる。

今年度から、ICTによる人や車の動向把握等の実証実験に着手するなど、エリア観光渋滞対策の実験実施地域として選定。

軽井沢町・神戸市

【選定理由】

地域の課題やこれまでの取組を踏まえ、面的に観光渋滞対策を行うエリアの絞り込みを行うことが必要。

今後、対策実施エリアの絞り込みに向けた検討等を進めることにより、実験実施環境が整うことが期待される。

今年度は、今後の取組方針や実験計画等の更なる具体化に向けて、検討を行う地域として選定。

(参考) 主なICTの例

ETC2.0

ETC2.0車載器と路側機との通信により、プローブ情報(位置、速度、急ブレーキ、経路等)を収集



※柔軟に設置・計測が可能な、可搬型のETC2.0路側機について、今年秋頃より導入予定

AIカメラ



AIによる画像処理で交通量調査、自動車起終点調査をIT化

車(交通量等)



人(利用者数)



高度化光ビーコン

高度化光ビーコン



- ・渋滞情報・旅行時間情報
- ・信号情報等



- ・プローブ情報等



高度化光ビーコンと対応車載機との双方向通信により、交通情報(渋滞、旅行時間、信号情報等)の提供、プローブ情報等の収集